

対グアテマラ共和国 国別開発協力方針

2017年9月

1. 当該国・地域への開発協力のねらい

- (1) 中米最大の人口と GDP¹を有するグアテマラは、1996 年の内戦終結以降、平和と民主主義の定着及び地方と都市部における格差の是正に努めてきた。しかし、貧困率及び貧困の地域・民族間格差は依然として大きく、人間開発指数は中南米・カリブ地域でハイチ、ガイアナ、ホンジュラスに次いで低い²。また、ハリケーン、地震、火山噴火などの災害に度々見舞われているが、特に近年は気候変動の影響による洪水、土砂災害が多発しており、自然災害に対する脆弱性の改善が持続的発展の観点から大きな課題となっている。
- (2) グアテマラは中米議会（PARLACEN）、中米経済統合機構事務局（SIECA）、中米防災調整センター（CEPREDENAC）などの地域機関の事務局が設置され、地域統合において重要な役割を担っている。
- (3) 我が国との国際場裏での良好な関係など 80 年以上にわたる友好関係及び上記を踏まえ、我が国による同国への開発協力を通じ、二国間関係の深化のみならず、中米域内の統合促進に寄与することをねらいとする。

2. 我が国のODAの基本方針（大目標）：持続可能な社会・経済開発への支援

- (1) 社会・経済開発が堅実なものとなるよう、貧困地域の社会・経済開発に焦点を当てた持続可能な成長の促進に貢献する。
- (2) また、自然災害に対する脆弱性に対処するため、我が国の技術・知見を活用して同国の環境・防災分野における支援を行う。

3. 重点分野（中目標）

(1) 貧困地域の社会・経済開発

地域間の格差は政治・社会状況の不安定化を招く要因であり、その結果、経済成長を阻害する原因となっている。このため、貧困層・先住民族が多く居住する地域において、基本的ニーズにターゲットを置いた社会開発（保健・衛生、教育等）及び生計維持・向上を目標とした経済開発（交通インフラ、中小零細企業、農村開発等）支援を行うことで、都市部との格差是正に貢献し、持続的・包摂的成長を促す。

(2) 環境・防災

¹人口は約 1,658 万人（2016 年、世銀）、一人あたり GDP は 4,146.7 米ドル（2016 年、世銀）。

²人間開発指数（HDI）2016 年：188 か国中 126 位。

水質汚濁や廃棄物処理による生活環境の悪化や頻発する自然災害に対する脆弱性に留意し、環境意識の向上や災害リスクの軽減、災害発生時の対応など環境保全・防災分野における支援を実施する。

4. 留意事項³

(1) 地域協力

グアテマラを含む中米地域では、地域統合に向けた取組が進められていることに鑑み、我が国として中米統合促進及び地域協力を留意する。

(2) 治安改善への協力

グアテマラ政府は治安の強化を重要な課題と位置付けており、我が国としても同政府の治安対策への取組に留意しつつ、可能な範囲での支援を検討する。

(3) 他ドナーとの援助協調

主に栄養改善、女性の地位向上等の分野において、米州開発銀行（IDB）や世銀が実施するプロジェクトと我が国による支援との相乗効果を高めるべく、これら他ドナーとの緊密な連携を行う。

(4) 中米統合支援

中米統合支援のため、中米統合機構（SICA）を通じたグアテマラへの協力を促進する。

（了）

別紙： 事業展開計画

³ 当該国を対象として実施された過去のODA国別評価は次のとおり。

グアテマラ共和国国別評価 報告書掲載先：

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/shiryo/hyouka/kunibetu/gatirama.html>